



かわせみ通信

9月号
2016年9月
Vol.85

発行所  株式会社 東海テクノ ECOCLOGY & SCIENCE 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号(〒510-0023)
TEL.059-332-5122(代) http://www.tokai-techno.co.jp

”好き”で作る能力、超える国境 ～こどもプログラミング教育の今～

日本におけるスマホのSNSアプリではFacebookやTwitterとともに利用者の多いLINE。その株式が本年7月に東証一部に上場した際には、その初値とともにLINEが韓国の会社であることを初めて知った人が多かったことも驚きをもって報道された。“モノ”の世界において海外市場で一定のシェアを確保するという事は極めて困難なことだが、こうしたソフトウェアサービスはあっさり国境を越えてしまう。さらに、IoTという“モノ”とICTとの融合を強める商品開発が世界的に進む中で、今やこうしたITグローバル企業を多く輩出することを国家戦略とし、投資と教育を強化している国は多く、韓国もそうした国の一つである。我が国でも、小学校でのプログラミング教育の必修化に向け、2020年度からの新学習指導要領に教える内容を盛り込む方向で議論されている。幼少期の段階からクリエ

イティブな思考と論理的に問題を分析する能力を養えることや、プログラミングとそれによるハードの制御などの世界に触れることはメリットも多いが、学校という場で誰が何を教え、どう評価するのかについて機能不全に陥ることを危惧する声も少なくない。スポーツの世界でも地域の道場やクラブ、そして試合がある



加速度センサをどう使うか考え合う
(コンテストにて弊社社員撮影)

ように、このプログラミングの分野でも既にそうした“教室”に通い、競技会に挑戦する子供たちが年々増えている。先月PCN(プログラミングクラブネットワーク)という団体が、三重県の国立鳥羽商船高等専門学校の協力を得て開催したこどもプログラミングコンテストにも、県内の教室(*)の生徒を含め、35名もの子ども達が集い、その発想力とプログラミング能力を競った。プログラムの内容もさることながら、グループで話し合い、役割を決め、リーダーシップを取って、堂々とプレゼンをするという会社でも育成に時間のかかる能力を、そこでは小学生が当たり前のように発揮しているのには驚かされる。昼食時間が終わるのを待ちきれずに熱心にPC基盤に向う子ども達を見ていると、指導要領よりも“好きこそ物の上手なれ”を活かす場への支援こそ大事ではないかと思えてくる。

※こどもプログラミング教室(伊勢、津、鈴鹿、四日市で開講) 詳しくは <http://ithinkjp.wixsite.com/pgclass>

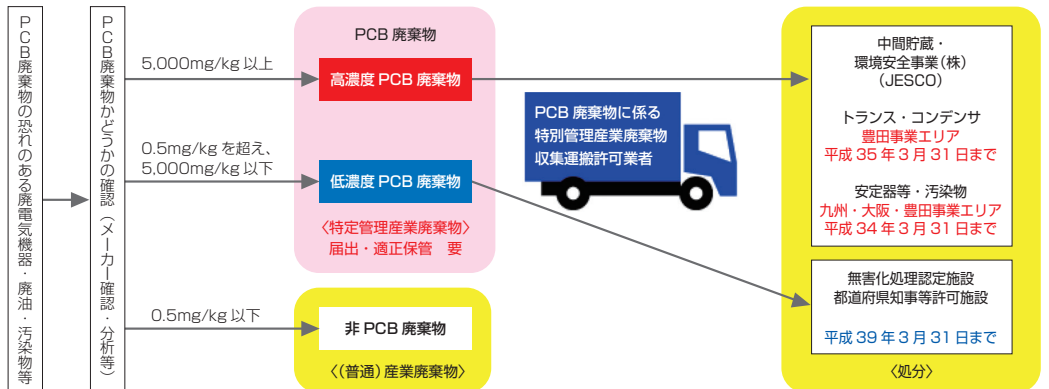


キュービクル(高圧受電設備)の処分はどうしたらいいの?

事業所の増築工事などで現在のキュービクルや入れ替えにトランスの処分をする時は、PCB廃棄物になるかどうかをまずは確認する必要があるね。銘板の型式などからメーカーや日本電機工業会(JEMA)のウェブサイト(PCB含有のある機器かどうかの照合はできるし、製造年でおおよその判断はつくんだけど、絶縁油の交換が行われている場合もあるから実際に廃棄する時は、当社のような分析機関でPCBの混入がないかを確認することが求められることも多いんだ。もし、PCBが

0.5mg/kgを超える濃度で含有するものであった場合はPCB含有と判断されるから、①行政への届出 ②適正保管 ③期限までに廃棄という流れになるんだけど、届出先の都道府県の廃棄物を管轄する担当部署へ相談することで、適正処分の進め方について丁寧にアドバイスしてもらえるよ。

●三重県の場合
三重県 環境生活部 廃棄物対策局 TEL:059-224-2475



社員プチコラム

森川 祐実 (四日市分析センター ラボGr)

私は、小学生の頃から犬を飼っています。数年前から猫と一緒に住むようになりました。犬と猫は仲が悪いというイメージがありましたが、うちの犬と猫はいつの間にか友達になっていたようです。休日に近くの公園へ犬の散歩に行くと、後ろから猫もついてきて一緒に散歩しています。その光景に気分もほっこりします。また、近所の方々も気に掛けてくださっていて、気軽に会話をする機会に繋がっています。様々な施設が動物療法や園芸療法を取り入れているように、生き物にはリラックスさせてくれる効果があることを実感しています。このようゆったりとした時間を大切にしていきたいです。



編集後記

今年は当初、台風が発生が例年より遅れていると報道されていましたが、8月末から台風と聞かない日がないくらいに、その被害など深刻なニュースが流れており心が痛みます。9月は防災月間です!過去の震災や台風襲来を教訓に、備えを再度見直しませんか。(みっちゃん)

